

レベル・サーティーン (2006)

13
13 BELOVED

メディア 映画

ジャンル サスペンス ミステリー

製作国 タイ

色彩 Color

時間 114分

初公開日 2007/06/09

公開情報 ファインフィルムズ=熱帯美術館

映倫 R-15

【キャッチコピー】

試される13の人間性

【解説】

ふとしたはずみで、正体不明の男から提案された謎のゲームに挑戦してしまい、次第に自らの人間性をむしばまれていく男と、さらにそれ自体を対象にする闇のネットゲームの存在を衝撃的に描き出す戦慄のサスペンス・スリラー。監督はこれが長編2作目のタイの新鋭、M・チューキアット・サックヴィーラクル。

バンコクの楽器会社に勤めるセールスマンのプチットは、ある日突然解雇されてしまう。お金に困り、途方に暮れているところに、彼の携帯電話が鳴り出す。電話の主は、プチットが幸運にも、13のレベルをクリアすると最大3億円が獲得できるゲームの参加者に選ばれた、と説明する。戸惑いつつも、挑戦すると答えたプチット。そんな彼に課された最初のゲームは、目の前の蠅を叩き落とすこと。半信半疑でそれを実行したプチットだったが、その直後、携帯電話に銀行口座の入金メールが。破産の危機に直面していたプチットは、不安を感じつつも残るレベルを一つひとつクリアしていくのだが…。

【クレジット】

監督	マシュー・チューキアット・サックヴィーラクル	Matthew Chookiat Sakveerakul	
製作総指揮	ソムサック・デーチャラタナプラースト	Somsak Techaratanaprasert	
原作	エカシット・タイラット		
脚本	マシュー・チューキアット・サックヴィーラクル	Matthew Chookiat Sakveerakul	
	エカシット・タイラット		
音楽	キティ・クレマニー		
出演	クリサダ・スコソル・クラブ		プチット
	アチタ・シカマナ		トン
	サルンヨー・ウォングックラチャン	Sarunyu Wongkrachang	スラチャイ 警部
	ナターポン・アルンネトラ		ミク
	フィリップ・ウィルソン		プチットの 父
	スクルヤ・コンカーウォン		プチットの 母